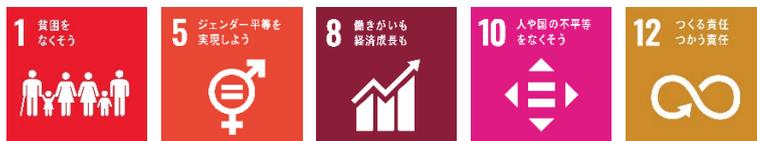


西アフリカ地域におけるシアバターの生産と女性生計支援 —BYCS の活動からの男女格差問題へのアプローチ— 小池 春伽 (BYCS/国際関係学科・学生)



はじめに

筆者は、10年ほど前より国際協力活動に従事しており、ソーシャルビジネスを通して途上国での貧困問題の改善に取り組んでいる。本稿は、筆者が所属している認定 NPO 団体 BYCS (バイクス) が注目しているシアバターを題材に、アフリカ社会が抱える貧困問題の要因となっている男女格差の問題の要点を現地で撮影した写真を交えてまとめたものである。

シアバター

シアバターはシアの実からとれる脂肪分で、保湿力が高いため乾燥対策に多く使われている。美容業界では高価な成分として重宝されており、さまざまなスキンケア製品に使用されている。例えば、世界的なコスメブランドであるロクシタンの「シア・シリーズ」や、生活雑貨や食品など幅広い商品を扱う無印良品のボディークリーム、さらに BYCS が販売しているハンドクリーム (写真 1) に使用されている。



写真 1: hadanishoa (ハダニシア) ハンドクリーム (BYCS 2022)

シアバターは、その色合いや高い栄養価と効果から「天然の黄金」と称されることが多いが、「女性の金 (Women's gold)」とも呼ばれる。その名前の由来は、シアバターがこれまで何世紀にもわたって、多くの貧しい女性たちに仕事の機会を提供してきたことにある (Beczner et al., 2017)。

シアバターと女性雇用

化粧品用シアバターの市場規模は拡大傾向にあり、2022年には10億米ドルを超えた (Reports and Data, 2023)。今後もその傾向が続くと予想されているが、その市場を支えているのはアフリカのシアバター製造工場働く女性たちだ。アフリカ諸

国では、性別に基づく伝統的な役割分担が多く見られ、女性はシアバターの生産において中心的な役割を果たしてきた。実際、BYCS メンバーが訪れたブルキナファソのシアバター製造工場でも、労働者の9割が女性だった (写真 2)。



写真 2:ブルキナファソ、シアバター製造工場 (BYCS, 2017)

シアバターの生産がこれほどまでに女性の経済的自立を促進してきたのは、伝統的な要因だけではない。シアは優れた植物資源で、例えば、シアの木は一度実が実ると、数十年にわたって安定した収穫が期待できる点で持続性を有する。持続的に収穫できるため、仕事を掛け持ちする必要が少なく、骨の折れる仕事探しに追われることがなく、負担軽減につながる。また、シアの実収穫後の作業は基本的には手作業のため、女性取り組みやすい。さらに、危険を伴う工程がないため、工場内が安全で、育児との両立もしやすい (写真 3&4)。



写真 3:奥で母親の仕事を待つ子どもたち (BYCS, 2017)

写真 4:子どもをおんぶしながら働く女性 (BYCS, 2018)

女性の経済的自立と男女格差の克服課題

シアバターの需要増加に伴い、確かに多くの貧しい地域で女性の雇用が促進されてきたが、彼女たちが経済的な恩恵を十分に受けているとは言い難い。国連(FAO)で2015年に行った調査によると、シア業界の女性の平均年収は900米ドルである。一日あたり2.46米ドルの収入では、教育や医療に充てられる費用を捻出することが難しく、国際的に定められた絶対的貧困ライン(1.90米ドル/日)とさほど差がない。また、同調査でさらに明らかになったのは、シア業界において男性労働者はで約1割しか存在しないにもかかわらず、その男性労働者が女性よりも組織の幹部や取引に関わる仕事をしているということだ(図1:イメージ)。これは、SDGsターゲット5.5における「経済活動の意思決定において、完全かつ効果的に女性が参画し、平等なリーダーシップの機会が確保されるべき」という目標が達成できていないことを示している。

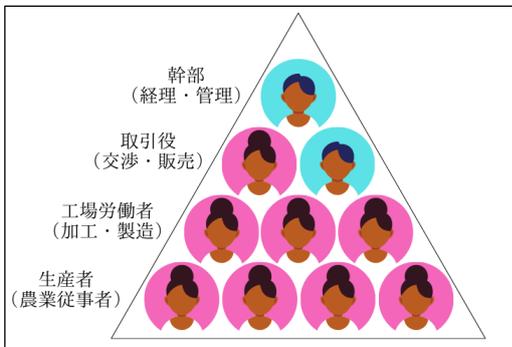


図1: イメージ: シア業界男女分布(筆者作成)

さらに驚くべきことに、男性労働者の賃金は同じ立場で働く女性の44倍であることも、同調査によって明らかにされた。これは、ターゲット8.5で掲げられている「すべての女性及び男性の…同一労働同一賃金」に程遠い状況だ。シアバターによって女性の雇用は創出されているものの、男女間の格差は依然として深刻である(Chen 2017)。

男女格差が及ぼす影響

経済的な問題に加えてシアバターの品質にも男女格差の影響が現れている。シアの実に含まれている脂肪酸には、酸化を引き起こすリスクが高い成分があり、酸化が進むと、風味や香りの劣化、栄養価の低下が生じる。酸化は乾燥や低温保存など適切な処置を施すことで抑制できるが、放置すると、時間の経過とともに実の中の過酸化物質の量が増加する(図2)。

収穫からの経過日数	0	3日	6日
過酸化物質の値 mEq/kg	10.9 ± 0.6	25.2 ± 0.7	354.3 ± 3.2

図2: 時間の経過に伴うシアの中に含まれる過酸化物質の量の変化(Nahm et. al. 2012のデータをもとに筆者作成)

シアの品質を維持するためには、収穫後できるだけ早く適切な処置を行うことが必要である。しかし、男性が多く関わる組織が製造するシアバターは、シアの実を加工せずに直接卸売業者に販売することが多く、そのため、女性を中心とした組織のシアバターと比べて品質が低いことが調査によって示された。加工せずに販売することで、本来収穫直後に行われるべき発芽防止のための乾燥処理が遅れ、酸化が進み、品質が低下するためである(Elias & Carney 2007; Nahm et. al. 2012)。

シア市場における販売元の多様化

国連やNGOが支援した「開発における女性(WID: Women in Development)」アプローチにより、シアバターの市場シェアは1990年代頃から拡大してきた。近年顕著なのは、販売元の多様化である。かつてシアバターを主に取り扱っていたのはコスメ業界の大手メーカーだったが、現在では小規模ブランドやNGOもシアバターを使用した製品を多数展開している。この理由として、ブランド戦略の変化や製品ラインナップの多様化などが考えられるが、シアの品質の均一性を確保することが難しいという課題も指摘されている。この問題が必ずしも男性労働者だけに起因するとは断言できないが、近年、消費者が製品の成分や品質に対して従来よりも高い透明性を求める傾向が高まっており、消費者の要求に答えるためには、前に述べたような品質低下のリスクは課題となり、克服する必要があるだろう。

おわりに

シアに関する研究では、従来、シアバターの市場拡大がいかに女性の雇用創出を促進させてきたかについて論じられてきた。しかし、経済的な恩恵を十分に受けられておらず、男性と比べて劣位な立場にあること、そして男女の格差がシアバターの品質に悪影響を及ぼしていることが明らかになった。そうした課題についても、多角的に理解していくことが必要である。

主要な参照・参考文献

- Bechner, C., Gower, B., & Vizzoni, P. 2017, "Women's Gold: Finding a market for Dagara shea butter". In *Corporate Citizenship in Africa*. Routledge.
- Chen, Tammy 2017, *Impact of the Shea Nut Industry on Women's Empowerment in Burkina Faso*. United Nations (FAO).
- Elias, M., & Carney, J. 2007, "African Shea Butter: A Feminized Subsidy from Nature". *Africa*, 77(1).
- Nahm, H. S., Juliani, H. R., & Simon, J. E. (2012). "Effects of Selected Synthetic and Natural Antioxidants on the Oxidative Stability of Shea Butter (*Vitellaria paradoxa* subsp. *paradoxa*)". *Journal of Medicinally Active Plants*, 1(2).
- Reports and Data (2023), "Cosmetic Shea Butter Market, by Type, by Application, and by Region Forecast to 2032" <https://x.gd/PE4nO> (2024年11月12日アクセス)